

問1 弥生時代に始まった、青銅器と鉄器の使い分けに関する背景について、正しい説明はどれですか。（2026年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 青銅は鉄よりも耐久性に優れていたため、大規模な土木工事の道具としてのみ使われた | 2. 石器から鉄器への移行を嫌った指導者たちが、妥協案として青銅器を儀式に導入した | 3. 鉄器が実用的な武器や工具に用いられる一方で、青銅器は主に集団をまとめるための祭礼や権威の象徴に特化していった | 4. 青銅器は弥生時代の中頃に全て回収され、その原料はすべて鉄器の製造に再利用された |
|--|---|---|--|

問2 弥生時代に大陸から稲作の技術とともに伝わった金属器について、武器や工具として実用的に使われた鉄器に対し、主に豊作を祈る祭りなどの祭祀（儀式）に用いられたものを総称して何といいますか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|-------|---------|
| 1. 青銅器 | 2. 鉄器 | 3. 埴輪 | 4. 磨製石器 |
|--------|-------|-------|---------|

問3 1世紀半ば、日本の小国の一つであった奴国の王が、中国の王朝である後漢へ使者を送った時期の社会状況として、最も適切なものはどれですか。（2022年 愛媛公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 大陸から伝わった稲作や金属器の使用が広まり、食料の蓄えや土地をめぐる集落間の争いが起こるようになった。 | 2. 狩猟や採集を生活の中心とし、ナウマンゾウなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていた。 | 3. 仏教による国家の安定を図るため、聖武天皇の命によって全国各地に国分寺や国分尼寺が建立された。 | 4. 巨大な前方後円墳が築造されるようになり、その周囲には死者を供養するための埴輪が並べられた。 |
|--|--|---|--|

問4 3世紀の中国の歴史書『魏志』倭人伝において、女王卑弥呼が統治していたとされる、当時の日本列島の呼称として適切なものはどれですか。（2017年 長崎県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|---------|-------|--------|
| 1. 倭国 | 2. 邪馬台国 | 3. 日本 | 4. 高天原 |
|-------|---------|-------|--------|

問5 弥生時代に大陸から伝来した金属器に関する統計資料において、武器や工具として実用的に使われたものとは別に、主に祭祀や儀式の道具として分類される金属器があります。銅鐸や銅鏡などが代表例である、この金属器の名称として適切なものを選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|---------|--------|
| 1. 青銅器 | 2. 鉄器 | 3. 打製石器 | 4. 須恵器 |
|--------|-------|---------|--------|

問6 弥生時代の社会や文化について述べた次の文のうち、近畿地方を中心に分布する青銅器である「銅鐸」の特徴や背景を説明したもののとして最も適切なものはどれか。（2020年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 稲作の豊作を願う祭りの道具として使われ、表面には当時の人々の生活の様子が描かれることもあった。 | 2. 死者を埋葬する際に副葬品として納められた装飾品で、魔除けなどの意味を持っていた。 | 3. 古墳の墳丘に並べられた焼き物であり、葬られた王の権威を示したり聖域を区切ったりする役割があった。 | 4. 実用的な武器として使われたのち、次第に祭祀用へと変化したもので、九州地方北部で多く出土する。 |
|--|---|---|---|

問7 弥生時代の大規模な集落に見られる「環濠集落」について、集落の周囲に深い壕や柵を設けた当時の社会的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 稲作が普及して蓄えられた食料や土地をめぐる争いが始まり、防衛を固める必要があったため | 2. 仏教が伝来したことで、寺院を中心とした聖なる空間を俗世間から区別するため | 3. 大陸から伝わった最新の建築技術を誇示し、周辺の豪族に対して政治的優位を示すため | 4. 大規模な洪水や高潮などの自然災害から、住居や高床倉庫が流されるのを防ぐため |
|---|---|--|--|

問8 弥生時代、土を耕すための農具や敵と戦うための武器には、青銅ではなく主に「鉄」が材料として選ばれました。このように鉄器が実用品として普及した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 大阪公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 鉄は青銅に比べて硬度が高く耐久性に優れていたため、衝撃の加わる作業や戦闘に適していたから。 | 2. 鉄は青銅よりも融点が低く、当時の未熟な技術でも簡単に大量生産することができたから。 | 3. 鉄は日本列島で独自に発見された金属であり、大陸から輸入する必要があった青銅よりも安価だったから。 | 4. 青銅は非常に重く持ち運びが困難だったため、軽量の鉄が実用的な道具として好まれたから。 |
|--|--|---|---|